



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2020/10/13

研究課題名	HBOC 患者に対するリスク低減手術がもたらす心理・身体・社会的変化についての調査
研究の対象	2013年から2025年3月までに当院にてリスク低減乳房切除術(RRM)もしくはリスク低減卵管卵巣摘出術(RRSO)を受けた方
研究目的・方法	<p>遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)はBRCA1遺伝子およびBRCA2遺伝子を原因遺伝子とする遺伝性腫瘍症候群で、女性の乳癌や卵巣癌の発症リスクが一般頻度よりも高いことが知られています。乳癌や卵巣癌の発症リスクを下げる選択肢としてリスク低減乳房切除術(RRM)やリスク低減卵管卵巣摘出術(RRSO)がありますが、これらの手術が与える影響についての検討はまだ不十分といえます。この調査では、今後リスク低減手術を検討している患者さんが手術を受けるかどうかの判断材料となること、また遺伝カウンセリングでの情報提供に大きく貢献するものです。</p> <p>この調査では対象となる方にアンケートをお願いし、手術前後での心理・身体・社会的な変化についてお答えいただきます。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	研究に用いる情報は当院での診療記録、遺伝カウンセリング記録、家系図、アンケートで得られた情報です。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、本研究に参加を希望されない場合、アンケートに回答をしない自由もあります。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先の連絡先： 公益財団法人 田附興風会 医学研究所北野病院 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 [TEL] 06-6312-1221</p> <p>研究責任者： 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 乳腺外科 遺伝カウンセラー 小松 茅乃</p>